

小麦生産現場への普及に向けた手引き
生産体制・技術確立支援事業
「ICT を利用した小麦の生育予測技術」

小麦生育予測技術は、メッシュ農業情報気象データを活用し、1 キロメッシュ単位で小麦ステージの予測を可能にした技術で、「農業情報システム (AgriLook)」によりタブレット端末等で情報を確認できます。本技術により、生産現場において、栽培期間中の生育ステージを適切に把握することで、施肥、防除、収穫等の適期作業が実施でき、小麦の品質確保、安定多収につながります。

1 予測可能な小麦の主要なステージ

- ・ 茎立期、出穂期、成熟期、収穫期

2 情報伝達手法

(1) 紙媒体

普及指導員や営農指導員による生産者への対面での情報提供

(2) SNS

生産部会等の LINE グループでの情報提供

(3) Z-GIS (ほ場管理システム)

Z-GIS と連携し、ほ場毎に情報提供

ただし、生産者の Z-GIS への加入が必要

3 利用上の注意点

この予測技術は、地域慣行に準じて栽培し、正常に生育した場合に適合します。栽培条件（①湿害発生時、②除草剤等による薬害発生時、③極端な減肥、多肥栽培、④病気の多発時、⑤播種深度が深い時）によっては予測が前後する場合があります。情報提供の際には、上記を注意点として添えてください。

また、産地の生育基準ほや肥料、薬剤等の展示ほで各ステージを観察し、予測と照らし合わせて精度確認を実施してください。

「ICTを利用した小麦の生育予測技術」利用マニュアル

小麦生育予測技術は、メッシュ農業情報気象データを活用し、1キロメッシュ単位で小麦ステージの予測を可能にした技術です。本技術により、生産現場において、栽培期間中の生育ステージを適切に把握することで、施肥、防除、収穫等の適期作業が実施でき、小麦の品質確保、安定多収につながります。

本技術を組み込んだ「農業情報システム（AgriLook）」とZ-GIS（JA全農製）を連携させることで、パソコン、タブレット端末等でほ場毎の情報を確認できます。

1 適用品種

きぬあかり、ゆめあかり

2 予測可能な小麦の主要なステージ

茎立期、出穂期、成熟期、収穫期

3 AgriLookとZ-GISの連携

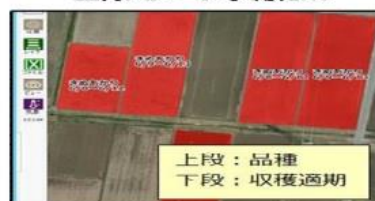
<イメージ>

○AgriLook画面



管内地域全体の予測にとどまり、個人の圃場の予測はできない。

○Z-GISとAgriLook連携
生育ステージ予測結果



追肥診断結果



各個人の圃場の生育予測や追肥診断等が可能

4 利用上の注意点

この予測技術は、地域慣行に準じ栽培し、正常に生育した場合に適合します。栽培条件（①湿害発生時、②除草剤等による薬害発生時、③極端な減肥、多肥栽培、④病気の多発時、⑤播種深度が深い時）によっては予測が前後する場合があります。